THE WOMAN'S WEEKLY
第五巻 第四號
大正八年一月卅一日發行 (毎週發行金曜日) 大正四年十一月四日第三種郵便物認可

婦人週報

目次

□義人の蒙る悲慘の運命……小橋三四子
□冬の北國婦人……三輪田元道
□わが子寶「九人の子女に圍まるゝ德富靜子夫人」……記者
□廣岡刀自の「一週一信」を讀みて……木内てい子
□埋もるゝ才能もかくて花咲く—愛國婦人會大阪支部の活動…記者
□女學生一團のスキー練習…記者
□日本のお父さん……藤田轉雲
□臺所にて……柳八重子
□子供の智慧……
□舊都の正月……佐久千代子
□此頃の野菜料理……指原乙子
□オハナシ「アリスの冒險」……蕗子
□文苑「黒と赤の薔薇」……K子
□時事……編輯室より……

定價一部五錢 郵稅五厘
婦人週報社

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

肺病（結核）の積極的補血療法

肺病と一口に言つても色々あるが、其中でも肺結核と言へば、今日迄何人も絶對に不治の難病であると信じて來た。然し乍ら非常な勢ひを以て進歩に進歩を重ねて來た最近の醫學は、種々な新療法を發表して『肺病は不治也』と言ふ觀念を打破しつゝある。が、茲に最近發表された學説によると肺結核の如き細菌の侵害による病は自巳の身体の血液を豊饒ならしめ、其白血球の作用によつて肺結核菌を殺滅することを盛んに主張する。之れが所謂積極的の補血療法で、肺結核を根本的に治療せしむる最も新しい治療法である。

□人參は補血作用頗る□
□強く肺結核に卓効あり□

人參は古來凡ゆる病氣を治療する靈藥として認められ、近代醫學も又其効果を科學的に證明せるものであるが、其有効成分の作用は、強力なる補血作用を有し、血液の循環を盛んならしめ、凡ゆる病原菌に對する抵抗力を強靱ならしむるが故に之を服用する時は血液豊饒となる爲め、肺結核等の病原菌を殺滅する効果頗る著大である。而して**ホシ人參製劑**は藥用人參の世界的本場朝鮮開城産中より更に三宅博士が撰擇したものを、化學的に製劑したもので、其効果はあらゆる人參製劑中最も優秀と確認されてゐる。

□□人參の主なる効能は□□
神經衰弱、ヒステリー、精力減退貧血、肺病、目暈、リウマチス、子宮病血道、神經痛、營養不良、老衰、萎陰、腎臓炎

ホシ人參丸	五十錢　一圓　二圓
ホシ人參錠	五十錢　一圓　三圓　五圓
ホシ人參末	五十錢　一圓　三圓　五圓
ホシ人參流動エキス	五十錢　一圓　三圓　五圓

ホシ人參製劑

東京京橋
星製藥株式會社
電京一七八五番　振東二〇五二二番

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

義人の蒙る悲痛の運命

□京都日野家の出來事

廣岡淺子刀自の靈柩に従つて大阪に赴き、廿三日葬儀の後、安倍野に送りし遺骸の、翌朝ははやくも一片の白骨に名殘を止めて、灰に化し去りし跡を見て、私の亡骸に注ぎし執着も今は詮方なく、新らたに靈に生くる刀自の俤を忍んで、廿五日朝歸京いたしました。その夕刊を手にした私は、恩師日野眞澄氏方の一大悲痛事を知つて、圖るべからざる人生の出來事に、深く胸を打たるゝのでした。普く新紙の報じた通り、廿五日朝一時京都なる日野家の洋館と日本館との間より出火し、日野氏夫妻の目覺めし頃は、既に火焔一面に擴り、日本館に臥せる十八歳の令孃を頭に、四人の愛兒方は、兩親を始め人々の必死の努力も其の甲斐なく、見す〳〵烈火中に燒死せしむるの止むなきに至り、十六歳になる令息は、一人扉を排して逃れ出でんと務めしも、猛火を浴びて、大火傷して、一命の程も覺束ないと云ふのでありました。翌早朝各種の新紙により其の後報を見れば、令息は遂に六時絶命されたとの事でありました。九人の子寶に賑ひし日野家は、幼き四人のみを殘して、無殘や花の如き五名の子女を一時に失はれたのでありました。

□矛盾多き人生

日野氏は曩きに同志社神學部長として令名あり、京都大學講師をも兼ね、學殖一代に秀で、人格高潔の人として知られて居ります。昨春當時の同志社社長原田助氏と意見相容れず、十八年間心血を注がれし同志社に袂別して後は、専ら京都大學講師として、傍ら「基督教々理史」の大著述に力を致されました。私共はこの兩三年毎夏二の岡なる廣岡別邸内に、同氏の講義を聞き、其の人格に接したのでありました。逝ける廣岡刀自はいたく同氏の人格と學殖とを惜しみ、近く同氏を起たしめて、神學校設立の計畫を立てられました。愈よ着手の運びに至らんとするや、廣岡刀自は突如、天に召されたのでありました。日野氏にとつて、この一大知己を失つたことは、いかばかりの打撃であつたかは、申すもをろかな事であります。東京大阪に於ける淺子刀自の告別、葬儀の式場に、或は履歴を讀み、或は司式された氏は、悲痛の夢未だ全く去らぬ間に、慘憺たるこの出來事に遭遇されたのであります。いかなれば天はこの高潔の人格者を苦しむること、かくばかり深いのでありませうか。多くの破倫の行爲者や、不義、僞善を行ふ者の榮ゆる世に、正義敬虔の士が、この苦惱を受くるとは、いかにも矛盾多き人生と申さねばなりませぬ。かゝる時、誰れかこれを他人事と見過すことが出來ませう。今日只今其の運命は、各自の前に横はるかも知れませぬ。

□人智の及ばぬ災厄

火災其の他萬一の不慮を人力もて防ぐ方法を、日頃から充分に思ひ巡らすのは、もとより無用ではありませぬ。けれども醫界の泰斗も死のみは如何ともする事が出來ないやうに、此の世の中では人智の用意のみでは避け難き災厄があることは、世を渡る何人も感ずる處であります。人はこれを運命と申しませ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

う。單に運命として淺く諦め得ぬ者や、浮世の享樂に紛らして終ふ事の出來ない人にとつては、此處に不可解の人生の裏を支配する神の正義と愛とを求むる念が油然と迸り出づるのは當然の事であります。

□運命の解決を描いた戯曲

昔のイスラエル人は人の不可思議の運命の解決を求めんとして、一大戯曲を作つて、世に貽しました。即ち舊約にある約百記であります。義人約百は篤信の士として、一家は繁榮し、神と人とに愛せられて居りました。然るに惡魔はエホバに云ふやう、彼れの正義敬神は報いを求むる爲めであらう、もし一朝その家に災せば、彼れは忽ち不信の徒と化し去るであらうと。エホバはさらば彼れの一身の外、凡てを汝の手に委すと云はれた。そこで惡魔は約百の財寶と子女とを、一時に彼れの手より奪ひ去つたが、約百は端然として「我裸にて母の胎を出たり、又裸にて彼處に歸らん。エホバ與へ、エホバ取たまふなり、エホバの御名は讃むべきかな」と外衣を裂き、髪を斬り、地に伏して拜した。然るに惡魔はこの樣を見て、再び、エホバに云ふやう、約百の災害はなほ彼れの身邊に及ばなかつたのである。もし彼れの骨と肉とを擊つたら、必ず彼れの信仰は衰へるであらうと。エホバは然らば汝の手に彼れを委すと云はれた。そこで惡魔は彼れを人の最も忌む癩病者とした。最愛の妻さへ彼れの慘澹たる有樣を見て、「神を詛ひて死するに如かず」と云つたが、なほ約百は「我ら神より福祉を受るなれば、災禍をも亦受ざるを得んや」と云つて、神を詛はなかつたのでありました。

第二部に於て約百と三人の友人との問答が記されて居ります。妻の言葉には心を動かさなかつた約百も、遠方より彼れの不幸に同情して訪ひ來し親友等に遇つて稍々彼れの心は動くのであります。友人等は彼れの悲慘の運命は、何か神の前に匿れたる愆があるのではないか、速かに己のが非を悟り、神に謝罪せよと云はれた時、約百は極力己のが無罪を主張しながらも「神われに正しき審判を施し給はず」と云つて、神の意志を疑ひ、大に煩悶し始めたのであります。友人等はいかにもして約百に己のが罪を自覺せしめやうとして、各方面からこれを責むるが約百は依然として己のが無罪を主張し、われを見捨て給ひし神を探れて遇ひまつらん日は神に爭ひて己のが無罪の宣告を受けんと云ひ張つて居ります。而して今の屈辱のわが生活に同情して訪れ來し友人等によりてさへ、何の慰安をも與へられぬわが運命は堪へ難き迄孤獨であるが、なほその運命は彼れの爲したる罪に原因しては居らぬ事を主張して居ります。

第三部に於て約百と三人の友人の議論を傍聽して居た年若き一人は進み出て、兩者の議論の不滿を述べて、その審判をしやうとして居ります。約百の無罪を主張するを罪に愆を加ふるものとなすは、三人の友人と同樣でありますが、友人等が云ふ如く、神は人の罪に災するものとのみ思ふ考へにも賛成する事の出來ない彼れは、先づ宇宙の造物者、保護者なる神は、不正を爲し給ふべき理由がないとて神の善良なる性を高調し、なほ約百が神は正義の者に利益せずと云ふに對し、神は人間の行ひに影響を受くるには、餘りに高いと戒めて居ります。更ちに人が受くる苦痛は必ずしも神の怒りに非らずして、正しい者にもなほ必要な警戒であり、且つ不純を清むるに道德的鍛練であると諭して居るのであります。

□エホバの諭し

第四部に於て、エホバ大風の中より約百に答へて宣ふやう、約百が大なる困難の中にもよく堪へ忍んで神を捨てず、正しく聖き神につながる信仰と、此の世の正しく治めらるべきを信じたるを嘉みし、更らに試みの日に彼れが不滿と疑惑に襲はれたる事を匡されんとし給ふのであります。即ち神は先づ彼れに光彩陸離たる宇宙の現象を示して、神の權威の無限を示し、約百の神と爭はんと云ひしその僭越を悟らしめました。約百が己れを正しとし神を不正とした事に對して、反語的に約百をしても全能の權力を持たしめたりとせば、果して一刀兩斷に正邪善惡の審判して、これに相當する賞罰を與へ得る事が出來やうかと、無限に偉大複雜なる宇宙の現象中に神の審判を疑ひ、性急に結果を求めた誤りを悟らせて居ります。

二

第五部に於て約百は「われ汝の事を耳にて聞きゐたりしが、今は目もて汝を見たてまつる」とて、全く神に服從し、神に對する態度を正しくせらるゝと共に、神は約百の病ひを癒し、その所有を二倍にして、永遠に恩寵を豐かに送つたと云ふので結末をつけて居ります。

□悲痛の胸中を支ふる力

義人の蒙る悲慘の運命に對する煩悶も、世人の疑惑も、その解決も、この一篇の戯曲に遺憾なく現はされて居るのを見て、私は神が約百に示し給ひしその正義と愛に對する絶對の信賴の、日野氏夫妻の悲痛の胸中を支へんことを切に祈ると共に、世人と共に圖るべからざる人の運命に心を潜めて、これを逆ふる精神的用意を怠りなく積み度いものと思ふのでございます。

（三四子）

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

冬の北國婦人

講壇から見た所感

三輪田元道

過ぐる十三日から數日間、福島地方から、高田新潟にかけて、冬の北國を巡回講演せられた三輪田元道先生を三輪田女學校に訪ふて、北國の婦人に就いて話しを伺ふ。校門を入ろさ私の好きな親しむべき若い娘さん達が、彼方此方に小さい群を成して見えて居た。片側の階段から先生の姿が見える一今丁度授業が濟みました。お目に懸りませう」さにこやかに仰つて下さつた。

＊＊

「さうですね。今度の旅行は特別に婦人の方面を見るためではなかつたのですが、然し私が仕事を女子の教育にもつて居るといふので、時々婦人の會合等に講演を頼まれたりしましたから、見た丈の事を御話し致しませう。」

「今言つたやうな機會に於て、私の眼に映つた北國地方の婦人は、中央都會の婦人に比べて知識を愛する念が多いやうに思はれます。一寸講演會等で見ても、集る人達は年寄もある、中年婦人も有る。又若い人達も有る。上中流各階級に亘つて集つて居る。斯う言ふ點は都會では何時でも機會が得られると思ふためか、上流は上流、中流は中流と固つて了つて、其間の聯絡が能く行亘つて居ない。それから地方の人達は都會に比ぶれば、より純朴で、心、神に近しと言つた風があるので、物事に對する取入れ方も眞面目なやうです。から云ふ點から言つて、文明の取入れ、及び發達は、却つて地方の方が有望なやうに思はれます。」

＊＊

「それから又地方婦人は非常に勤勉です。或る地方などでは女は男よりもよく働く。從つて女の位置は思つたよりも尊重されて居ます。もう一つ地方婦人達の集りに於て見えたものは、それ等の間には必ず中心人物があつて、其地方の婦人界を動かし働いて居ます。其人達は如何いふ人達かといふに、宗教的の觀念から其地方の婦人界に盡力して居るといふのも有る、又其土地の名門の婦人であつて、其土地の婦人達に對する責任感に因つてさうして居るのも有ります。」

氏が此冬旅行された北國地方婦人についての是等の、御話しを伺つた末、私は斯ういふ事を伺つた。

「先生のやうに斯うして多數の若い生徒さん方を御扱ひになる立場から御覽になつたら、如何いふ方を最も好ましい「善き娘」だとお思ひになりますか」さ

＊＊

「さうですね。心の清い無邪氣なのが善いと思ひます。それが第一です。然しそれ斗りでは足りない。役に立つといふ事がなければなりません。そしてまた、頼もしい所があつて欲しいと思ひます。學校に居る時は好い娘だと言はれて居ても、出て了つてから一向に頼もしくない人がある。また學校に居る時は出しやばりだと言はれても、出て了つて後永く頼もしい人がある。自分の信念は行ひ得るやうでなければ頼もしくはない。また娘として成るべく快活に、嬉しい時には嬉しさを現し得るやうであり、泣きたい時には泣く事が出來るやうでありたいと思ひます。然しそれが過度に失すると所謂ヒステリーになつて了ふからそこが注意の要る點です。また心が清くつても役に立たない人がある役には立つても厭な人がある。さういふ所にも注意

三

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

が要ると思ひます。要するに私は、氣持よくさつぱりとして役に立つ頼もしい人がよいと思ひます。」

と、眞個に人皆の要求する善き娘は斯くあらねば成らない。大方の娘の目指すべき標準である。誰かの作品の中に讀んだ「すゞよかに いみじかれ、我が少女よ。」の言葉を思ひ出した。私が先生にお目に懸つて居た小さい應接間の彼方には、矢張り應接間でゞもあるらしい室が間續きに見えて居て、花瓶に何かしら花がさしてあつた。私の歸る時、また校庭の彼方此方に、若い

四

顔を輝かせて、立つて居る御嬢樣達を見て、心に「すゞよかにいみじかれ、我少女等よ」ともう一度繰り返した。

＊　＊　＊　＊

我が子寶（十）

九人の子女に圍まるゝ

德富靜子夫人

▲『末の子が十になつたらば少しは社會との交りも出來やう、會などにも出席しやうと思ひつゝいまだに其日が與へられませんのですよ……』

九人の子寶を有し、九十二才の姑をかゝへ、貴族院議員國民新聞社長德富猪一郎氏を夫とせる靜子夫人は、火にかざす節くれ立つた手の指にも自ら家事萬端に行き渡る忙しさが偲ばれる。尊き勞働に贏ち得たる手を、夫人は更に膝の上に組み合せて、氣輕な優しい笑を口邊にたゞよはせた。暖いどよめきを立ててストーヴの火はちろ／＼と燃え上つた。『それは私自身には何にも出來やしませんけれど、原稿を書く主人の氣分に觸る事があつてはと、同じ樣な心配が伴ふのです』現代の文豪と唱はるゝ、蘇峰岳人の筆の裏面には、目に見えぬ夫人の心づくしが織り込まれて居る。

數年前の德富家の子女方

▲『婦人もこれからは學ばなければなりません、職業教育も進んで受けなければなりません。私が今になつてこんな事を考へた處で、既に娘は成人して二人までも嫁しましたし、次のも今年嫁ぐ筈になつて居ります……けれども今後の娘は是非さうありたいと思ひます。お嬢樣育ちではねうちがございません。考へて見れば私などはものを學ぶなどいふ時さへ持たなかつたのです。兄妹の樣にした許嫁の仲で、十八才の時既に結婚したのですもの。そして大勢の子供と忙しい主人と、老ひませる親とに永い年月を使へて來ました。末子ももう十一才になりましたけれど、依然としてまだ私の家庭生活は忙しうございます。私は又、これを自分に與へられた天命としてつとめて居るのです、端から見ればばかゞしい犧牲かも知れませんけれど……』、犧牲とは餘りに勿體ない言葉である。生きたる影、生きたる潛勢力となつて、夫人の指一本腕一本の動力は立派に生きて輝いて居る。夫人は陰に咲く優しい愛の花であらねばならぬ。

▲賑やかな此家に引換へて令弟蘆花氏の御家庭の淋しいのも話題にのぼつた。さればこそ御夫婦伴れで歐洲漫遊の旅にも行かれたろ『お前が居ればエルサレムまでも伴れて行つて貰へたのにと鶴子に申したことでした……』夫人はかう云つて六女の鶴子さんの噂をされた。三つの時から子なき叔父君の粕ヶ谷御殿に引とられ、靜かな田舎生活を送られたつる子さんが、祖父君棋水翁の訃と共に、生れた家へ來られた。それつきりつる子さんの姿は粕ヶ谷には戻らなかつた。『世の中では無理に引とつたとか何とか申すさうですが決してさうぢやないのです』と夫人は云はれた矢張り自然に生れた家へ戻つた鶴子さんは、もうけろりとして粕ヶ谷の生活を忘れた樣な顔をして居られるといふ。『一人減つて好いあんばいだと思つたのに歸つて來たのです。でもおかげ樣で朝鮮邊りまで知つて居るのは、家中で主人と鶴子だけなんです』夫人は賑やかに笑つた。應接間の戸棚中ぎつしり詰まつたおもちやの中に、キウーピーがびつくりした目をきよろつかせて居るのを眺めながら、さよならをした。

＊　＊　＊　＊　＊

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

廣岡刀自の「一週一信」を讀みて

てい子

小橋様、久時お目に懸りません。廣岡様も遂々おなくなりになりましたのね。あの思掛けない黒枠にはめられた御肖像を新聞紙上で見た時、私は新春早々とりつかれた惡性の流行感冒が漸く快方に向ひかけて床の上に起直つて居られる時分でした。それからこえて數日、週報の上で貴女の御感想やら、種々亡くなられた方を紀念する悲しき記事を通して、私は慌たゞしく貴女からクリスマスに頂いた一週一信の書物を本箱から取出しました。(二十一日の告別式にもまだ戸外の寒い空氣に觸れる事を許されない私は、殘念ながら部屋に坐つた儘で、心の中におわかれをした丈でした。)人の死と云ふものが心に起させる作用程微妙なものは有りません。正直な處を申しますと私は貴孃からあの御本を頂いた時、ざつと目録に目を通したゞけでした。別段今が今讀むと云ふ氣にもなれず、其儘仕舞つて置いたのでしたが、偶然な刀自の死によつて私は急に其書物の中に何が書いてあるかゞ知りたくなりました。〃偶然にも刀自が此世に止められた遺物となつた此著述〃私は病後のまだこれと云つて取止めた仕事をする迄に恢復しない徒然の時間を利用してふと此書物に手を觸れますと、不思議な力が内から私をグイ〳〵引つけて、何でも彼でも一氣に讀んで了はなければならない心持に壓つけられました。寝床へ入つてからも蠟燭を點してどうする事も出來ない眠氣が、私の手から書物を落させる迄私は夢中になつて讀み耽りました。斯うして二晩斗り貪り讀んだ揚句、最後の頁を閉ぢる時何とも云ふ事の出來ない喜悦と希望に滿たされて、初めて書物を手から放しました。是が齢古稀を過ぎた老婦人の靈魂に宿つた思想で御座いませうか、遊惰逸樂に流れた今の世の中にも、斯ういふ思想を持つて居られた方があつたかと思ふと、賴母しい喜ばしいと思はれるより、私は先づ自分自らに顧みられて恥しくなりました。否、私ばかりではありますまい、此書物の前に眞實な意味で顏を赤くせず、額に汗をにじませないで、よく泰然とたつ人が幾人御座いませう。私共まだ深く世間に立交らない青年男女ばかりではありません。男子で、堂々たる一個の紳士で、眞に此書物に對して眉一つ動かさない男子が、幾人御座いませうか。唯扮裝をつくり散かして、男子の歡心を買はん事をのみ心掛ける青年女子や、女子に高等教育は不必要であるなど、若しも口の端にする男子があるとしたら、正に此一老婦人の心意氣の前に慙死す可きです。

私は生前の廣岡様と膝を交じへて談笑した機會を持ちませんでした。恐らく途中でお目に懸つて御挨拶をしても、向ふでは御存知ないであらうと思ひます、女子大學生の數多い中ですから。でも私の腦裡に印せられた女史の風貌は永劫消えるとはありますまい。

私の眼に映つた廣岡様は、決して世間並の可愛らしい老婦人ではありませんでした。いつも洋裝で堂々と講堂の演壇から私達を眼下に見下して、矢釜しいとばかり云つてお出でゞした。まだ其頃は中々六十に手が届いて居られませんでしたらうか。勿論靈の眼は開けて居ない時分

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

でしたが、成瀬先生の實踐倫理を敷衍したやうな問題で話されると、話題其物は珍らしくも何とも有りませんが、其飽く事を知らない智識慾が、鋭どさを湛えた眼中に火と燃えて、男子にも滅多に見られないキビ〳〵したお話しぶりに私共は打たれるのでした。一目見た風貌からしても、世間普通の婦人達は傍へも寄付けないと云つた様なピンと緊張した態度で、貧乏人の淺ましい僻目の故もありませうが、地位と門閥と金力とを其高い鼻の先にひけらかす、至つて好かない老婦人でした。思つた事は誰の前をも憚らない、どし〳〵云ふ、考へていゝと信じた事は即刻手を下すと云つた剛邁果斷な性質は前にも申した通り、地位、門閥、財力を兼ね備へた此人にとつて、どれ丈け敵が多かつたか察するに困難でありません。

實に日本の社會に培はれた人として珍らしい性格、驚く可き婦人でした。一口に云へば男まさりの一語に盡きませう。或人はあの書物を閲讀して、日本有數、否世界的名婦の列に加へても少しも遜色を見出せぬと申しました。古來人の口の端に上つた日本婦人の群中に強いて例を求めたら、誰にあてはまりませう。理性の強い、婦人として稀に見る冷靜な平政子、私は尼御臺が後半生の性格に思ひ及ぼします。然し此女傑には宗教的色彩は至つて薄う御座いました。彼女自身は眞に冷靜な政治家肌です。剛邁不羈な時としては不謙遜に陷る場合も少なくない刀自に、齡六旬をこえてから天の靈光に照らされ、親しく聖靈の賜物を獲得され、眞の熱誠にもえた刀自は、政子では餘りに比較の敵手が弱過ぎます。彼聖パウロは、刀自が使徒の數ある中で、殊に厚く深く敬愛せられた事があの著述の處々を通して會得せられますが、其理想、其熱烈、まさに使徒パウロに彷彿たるものがあります。此處迄到達しては女史自らも云つて居られる様に、男女の區別なぞはありません。古來有數の偉人に見る其精力、私は日本が生んだ最大の人格であると信じて居る日蓮を遥に思ひ起します。

我々日本の女子の爲に蹶然立つて高等教育の必要を叫ばれた恩人、齡古稀を過されても尚此活力ある女史を天主が一朝天へあげられて了つたと云ふ事に就て、女史の可惜未來が情けなく埋られて了つた様に考へられますが、私共は決して〳〵女史の死を嘆いてはなるまいと存じます。聖パウロのお語にもある通り、「我は戰ふ可き戰ひをよく戰ひ爲す可き總てを盡したれば天國の榮冠は我物である」と、心と希望と滿悅の裡に叫ばれた此意味を推しても、女史の死は決して悲しむ可きものではありません。女史は苦心慘憺たる其生涯を通して、なす可きことを立派に盡されたのでした。此一書の中に含まれた思想を、たとひ一言半句でも活かして實現するのは、私共若い者の責任であります。私は此恐る可き尊ぶ可き此思想の熱烈な力に打たれて、滿身の血潮の沸きたち、肉をどり骨さへ鳴るかの思ひを味ふと同時に、新たに重い責任が双肩にふりかゝつた感じに壓されました。

何と云ふ氣持のよい書物で御座いませう。退嬰的な信仰に逡巡する者、社會の一小局部に悶々するもの、新たにふるひ立たねばなりません。太陽の樣に、無限の大空の樣に高く廣く…、島國根性は淺ましいものです。世界的に生きねばなりません。

腦神經精神病
院長 ドクトル メヂチーチ 齋藤紀一
醫學士 田澤秀四郎
外醫學士二名
東京赤坂青山南町
青山腦病院
電話 芝

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

埋もる才能もかくて花咲く

—愛國婦人會大阪支部の活動—

＊＊

愛國婦人會大阪支部は、早くより遺族及び貧困者に、一時的に金品を施すを以て滿足せず、授產事業を設けて、就業の訓練と職業とを授け、彼れ等の自立を促して、永遠の救濟を計つて居ることは、誠に卓見であると申さねばなりませぬ。その基礎を置いた方は、近く逝かれた廣岡淺子刀自でありました。他支部と其の趣きを異にして居る經營振りには、屢々批難の聲も起つたのでありましたが、鐵石の如き刀自の意志は、歴代の知事夫人即ち支部會長を動かし、終に信ずる處を貫かせて、今日に至つたのであります。刀自の志を享けて、十年一日の如く同支部に献身的の働らきを續けて居らるゝのは、富樫眞喜子、服部たい子の兩女史であります。兩女史は、支部會長を助けて、會員相互の聯絡を計るは勿論、遺族貧困者を授產場に集め、一定の課業と職業を授け、外は利に鋭い大阪商人と折衝する事等、能くも女手一つに處理して行かるゝ事と感嘆の外ないのであります。

＊＊

大阪江戸堀に添ふて、恰も女學校のやうな堂々たる建物を持つ愛國婦人會内に、富樫、服部の兩女史をお訪ねしたのは、丁度廣岡刀自の葬儀の終つた翌廿四日の朝でありました。これから富樫女史の授業の初まらうとする三十分間を、兩女史と私とは火鉢を圍みながら、緣無しの疊みの敷いてある二十餘疊のがらんとした部屋の眞中に座を占めて語り初めました。奥村五百子女史の爛々たる眼ざしが、寫眞を引延ばした額の中から、絶えず何をか物語るやうに見守つて居るのでした。「日本中で私を休ましてくれるのは大阪丈けだ。大阪に行くと廣岡さんが私が萬事を引請けてやるから、その間は平常の疲れを休めるやうに寢て居れと云ふてくれる」と眞に肝膽相照らした同じ愛國の女丈夫は今頃靈界に再會の握手をして居る事であらうと話は兩刀自の追憶に厭くことを知らず走りました。二階からは、幾臺かのミシンの音が賑かに響いて來ます。「今此處に籍を置いて居る者は廿六名ですが、感冒やら何やらで家に戻つて居るのが九名、働らいて居るのが十七名です。世間の景氣がよい間は、人員が少いのですが、少し世間が寂れてくると、此處は反對に賑かになります。戰後の不景氣が著しくなれば、もつと此處に詰めかけて來ませうよ」と兩女史は語られながら、働らく女等の貯金の通ひ帳などを擴げて見せられるのでありました。

＊＊

一年足らずで百圓餘を貯めて居るのもあれば、三四年で僅かに廿圓卅圓のもあり、或はまたやがて百圓に屆かうとする間際迄漕ぎつけ大病に取りつかれ、全部引出して終つた可愛さうなのもありました。此の間肺炎で亡くなつた某女は、二百圓からの貯金があつたので、親は泣く〳〵「これで精々立派な石碑でも建てゝやりませう」と持ち歸つたとの事であります。

＊＊

七

此處に四年居て僅かに廿餘圓の貯金をして居る某女がありました。彼の女は大阪の細民窟の出でありますが、四年前十五才で此處に引取られました。初め

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

は人を白眼で睨めて、何を云つても猜疑んでとり、おまけに善からぬ癖をさへ持つて居りました。學業が嫌いで、讀本を一時間かゝつて漸う三行ほど數へても、次にはけろりと忘れて終うといふ有樣でした。勿論手仕事などは無器用で、何一つ滿足に出來ないので、氣の勝つた富樫女史は「あんな低能兒にかゝつて居ては、何んにも出來ないから斷らうではありませんか」と云ひ出されました。「この點に服部さんの前に謝罪らなければなりません」と富樫女史は四年前の思ひ出を淳々として語られました。「服部さんはこの子供は私にどうか委かして下さい」とそれから傍らを離さず親身も及ばぬ親切を以て導かれた。時々はそれが徒勞のやうにも見えたにも拘らず、一年經ち二年たつ中にこの低能のしかも惡癖を持つた子供は、次第〳〵に素直なよい娘となつて、今日では假令手は口に伴はなくとも、兩女史が何か云ひ付ける事に對し眞先きに「ハイ」と快い返事を與へるものはこの娘であり、白眼の表情はいつしかにこやかな温か味のあるものと變り、惡癖も全く止むに至つたとの事です。けれどなほ手仕事や讀書算術には極めて鈍く、工賃等も至つて少額しか取れないが不思議な事には、綴り方には、何人も舌を卷くほどに巧妙であるとの事です。四年前からいろはを習ひ初めた彼の女は、前に云つたやうに讀本を數へてもなか〳〵覺えないので、字は丸で知らないが、どうしてこんな可憐らしい事が云へるかと思ふやうな作文を綴つては、綴り方の教師富樫女史を屢々驚かすといふことであります。近頃作つたものゝ中に左の一文がありましたが、これなどは一字も訂正しない彼の女の筆の儘であると申します。

おのが裁縫せし小萬套を
いとこに送る文

今日ははなはだしつれいな小萬套を一枚小包便にてお送りいたしましたからこれをかづえさんにきせてあげて下さいませかづえさんもづいぶん大きくおなりになられましたでしようおばさん私もかづえさんをみたいですからこの萬套をきせて寫眞をうつしておくつて下さいませ御願ひ申上ます、私はこの頃小萬套ばかり縫ふて居りますので大そうなれましたが御承知の通りの不器用ものですから此度御送りいたしたのも誠に不出來で御座いますどうぞあしからずおほしめし下さいませ

僅か三十分に教場で書かせた作文とは思へぬ程にいかにも自然な情をよどみなく云ひ現はして居るではありませんか。兩女史は熟々「これですから教育は止められません。どこにどんな才能が潜んで居るか、全く解らぬものです。それにしてもやはり教育者は、愛が全部であります」と。私は兩女史が日本には餘り例のない社會教育救濟事業に着々と効を奏して行かるゝ事を有難く思ふて、なほ兩女史の熱誠に祝福あれと祈つて東上の汽車の時間にせき立てられながら辭して歸りました。（Ｎ子）

廣岡淺子刀自著

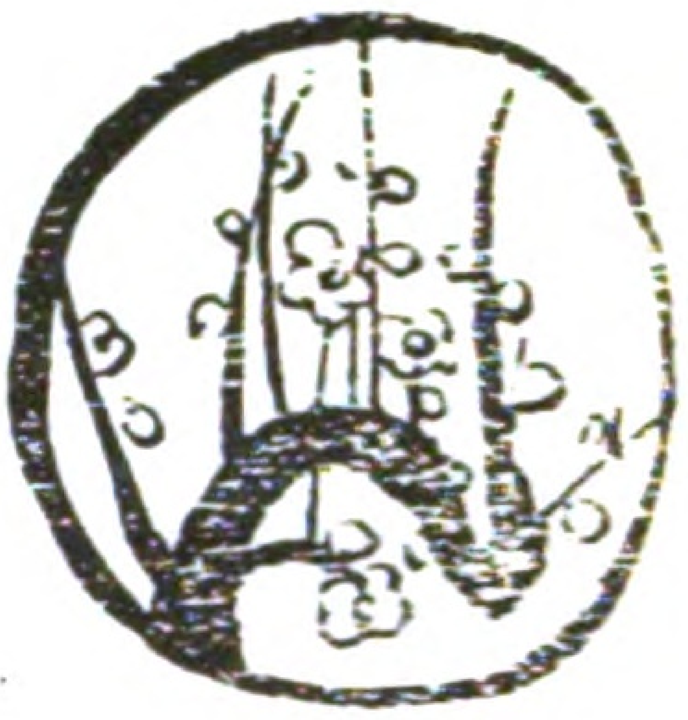
一週一信

三六版二百五十頁
定價金七十錢　郵税八錢

「七十になる迄」の自叙傳外四十九篇の熱烈なる叫びを收む

發行所　婦人週報社
東京市牛込區市ケ谷田町二丁目十七番地
振替三一六・六〇

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA



女學生の一團の　スキー練習

——女子商業の小島女史の指導——

＊＊

此冬休みに、女子商業の生徒さん方の一團がスキーの練習に遠征されたといふのを聞いて、其面白い運動であらうと思ひ、其一團を引率して行かれた同校の教師小島常子さんに御目に懸つて御話しを伺つて見た。椽側に福壽草の鉢の置かれた部屋で、女史はさつぱりとした調子で、種々と話された。

「左樣で御座いますね。私共の參りましたのは赤倉といふ温泉の附近に妙高温泉といふ赤倉の分湯が御座いまして、其處に私の知つた方の別莊がありますので、其處へ參つたので御座います。其の邊は雪が六尺位ゐ堅く積つて居りまして、なか〱盛んにスキー術が行はれて居ります。彼運動は大變爽快なもので御座いますよ。それに寒い處で身體を動かしますのですから克己心を養ふことにもなりまして、學生には極めて宜しいと思ひます。短い冬休み一杯の練習で御座いましたから、さう大して上手には成りませんでしたが、戸外でスキーをするあひま〱には炬燵で靜に本を讀んだり、また御飯を炊く當番の生徒は臺所で働く、雪の中をお豆腐買ひに出掛けると言つたやうな工合で、面白いお休みをして參りました。皆又行つて見たいと申て居りますんで御座いますよ。」

スキー御練習の伏見若宮殿下

＊＊

女史は斯う語られてスキーの繪葉書を示され乍ら、

「御覽に成りますやうに、斯ういふ長い板を靴にくゝりつけて、杖を手にし乍ら雪の上を滑るのです。最初はスキーの穿き方や歩き方、方向の轉換とか驅足とかを教はります。で此又廻れ右をするのが一寸初めはむづかしいのでして、こんな長いものをはいて居りますからね、突然向きを換へやうとしますと如何しても足が動かないので困つて人を呼びますと、後を御覽なさいと言はれて振り向くと、成程板と板が重り合つて動けなくなつて居ます。廻れ右の時には必ず片足を上に上げて中間で向きかへ、片足は下に置いた儘で向きを換へますんで御座います。けれども是も一寸慣れると造作もなくなつて仕舞ひます。上手になると傾斜面を上ることも、飛び下りることも自由になるさうで御座います。此飛ぶのはスキー術でジャンプと稱へまして傾斜面を中途まで滑り下りまして、中途から下まで飛び跳ねるので御座いますが、十八間位飛べるさうで御座います。坂を下る時には普通ならば身體を後へ反らしますのですが、スキ

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ーを致します時は、反對に前屈みになつて、身體と坂と直角の間を保ちませんと危いさうで御座います」。

＊＊

「防寒具がいりますでせうか」と聞けば、

「イヽエ、運動を初めますと温う御座いますからいりません。男の方は大柢チヤケツを召してなさいます。私共も平素よりもずつと薄着をして致して居りました。」と答へられる。

「怪我やなんかなさる方は御有りになりませんでせうか。」

「めつたにないさうで御座いますよ。只初めの中は直ぐに轉びましてね。それから坂を下りる時特別に道が氷つてなんか居りますと、止度もなく滑り下りて大變に危險ださうですから、そんな時には直ぐに横倒れに轉んで了ふのが好いさうで御座います。致して見ますとそれは愉快なもので御座います。それに私共參りましたものは大柢南の温い方のものが多かつたので、尚珍しく思はれまして、面白う御座いました。」と語られた。

＊＊

女史はまた非常に旅行を好まれて學校の休みには大柢旅行に出られるといふ。

「私の致しましたので一番長い旅行は支那の安南から雲南の邊を歩きました時で御座いましたこれは香港からフランスの船に乘りまして、海南島を經由して安南に上陸後、安南鐵道で雲南まで參りましたのです。實はもつと奥深く迄參ります積りでしたが、馬賊の危險もあり、從つて國際問題でも起すと困るからと領事館からの注意もありまして彼邊で止めました。彼邊は未だ中々婦人の旅行には不便でもあり危險も多う御座います。

第一旅館がフランス人のホテルならば御座いますが、もし日本人の所へ宿らうと致しますと、賤しい職業をして居る家へ宿らなければなりません。彼邊へ參りまして一番不愉快に思ひましたのは彼方に居ります日本の婦人で御座います。眞面目な職業をして居るものは殆居ないやうな有様で外國人に對しても恥しいと思ひます。

もう少し眞面目な階級の同胞婦人が來て呉れるとよいのだがと言つて居られました。さういふ風で御座いますから私共が汽車に乘つたり道を歩るいたりして居りましても矢張同じ種類の婦人のやうにフランス人などから侮りを受けます。彼邊はフランス領になつて居りまして、フランスの兵士や役人が大勢居るので御座いますよ。」

「地味は一帶に良好で農産物はよく取れます。土人は機業も致しますので御座いますが餘りよく發達致して居りません。極く幼稚な物のやうに見受けられました。開拓すれば未だ〳〵餘地が多いやうで御座います。日本は彼邊に比べまして土地が狹い爲で御座いませう、到る處よく使はれて居るやうで御座います。」と語られた。

●和洋服刺繍　（東京有樂町一ノ五）
シンガー裁縫院
▲生徒募集
●（ミシン專修）（毎月五日迄入學）●

婦人の 仕事に好適せる 趣味と實益ある 家庭的産業
鶏 各種 小鳥 蜜蜂 乳用 山羊 食用 家兎 種鶏 種卵 七面鳥 分讓
口詳細目錄往復葉書にて申込次第進呈　東京目黒　白明園

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

日本のお父さん

體裁負けの空虚な生活

斬雲

◎日本のお父さんは昔のお侍の後身である、併し今日では殿様の祿を離れて以來、尾羽打枯らした浪人同樣不如意な生活をして居る。

◎上の方には、御前樣だの、お旦那樣だのといふ金持階級が居る、下の方には「ちやん」だの「おとッツアン」だのといふ服裝もふりも構はぬ、無學無頓着な、遲鈍な階級が居る。上流の人間と下層の人間とは生活難の苦みを感じないが、日本の「お父さん」階級は、新聞を滿足に讀め、手紙を一人前に書ける丈けに、又前後を考へる能力があり、其の多くはお侍の後裔である丈けに服裝も振りも體面も甚だしく氣にする。其割りに收入がない、物價が三倍になつた間に、其腰辨勤務の月給なるものは、たつた四割しか臨時に殖えない。從て其の生活難の苦みは甚だしい

◎彼等は死なぬ限りに生存を續けて居る、大臣と代議士とは豪遊費の苦みがあるけれども、日常生活費の苦みが少いから、日本の政治家は日本のお父さんの生活難を救ふて呉れない。彼等は自ら起つて自らの救濟法を講じなければならぬのであるが、そんな事を口にする丈けでも腰辨たるの資格迄も失つて、全然無一物になる。

◎で彼等は腹の中で毎日不平を言ひつゝ、電車にも乘らずに出勤する外はない。日本のお父さんには、「食はねど高揚子」といふ不文律がある。食物の事や、着物の事を口にするは卑しい最上で、忽ち墮落する事である。

◎斯う窮屈な貧乏暮らしをするから意氣阻喪して、喪家の犬の如くなる。貧すれば鈍すといふ通り、彼等は才能も萎縮する。生甲斐がない事を自覺しつゝも、自殺する決心もない。彼等は醉生夢死などいふ洒落れた事には及びも付かぬ。生活せんが爲めの苦みに追はれて息も吐けない。

◎商賣人になる樣な智慧もない、死に劣る生を續けて行く外はない。日本人の家庭の半ば以上は、斯うしたお父さんの家庭である。澱んだ水の樣な生活である。誠に無意味な生活である。

◎而かも彼等は世間體といふ僞善の奴隷となつて、自らを欺き、自らの缺陷を辯護する方の理窟ばかり考へる。先づ學問してから生活の道を得ん事を計劃する。食糧戰爭時代、商工業時代に學校の教科書が、活計の資源とはならない。

◎日本のお父さんは一切の不平を酒に紛ぎらして居る、若くは碁將棊に紛らして居る。彼等は物質の王國を建てる事が出來ない代りに、心の王國を建てる丈けの靈性修養もしない。日本の敎は覇業に局した惡影響の爲め、日本のお父さんは物質の富に絶望して毫も心の富を考へない。趣味も藝術も彼等の頭には湧かない。成金たらんとする煩悶と、卑屈な諦めとの外には何にもない。

◎洋服にステッキで路行く時ばかりは堂々たる紳士である。彼等に取つて最も誇らしい瞬間は、大事な卷烟草を吹かして我家のお粗末な木戸を出る時である。

◎斯んなお父さんと同棲するお母さんは可哀想だ。

◎有れば有る樣に自働車だの芝居だのと贅澤も出來る、生き甲斐もある。無ければ無い樣に裏長屋の井戸端會議で氣晴らしも

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

出來て暢氣な裸生活も出來る。處が日本のお父さん生活ばかりは八方塞りで、體裁を整へる爲めに一切は消費し盡され、中身は全く空虛だ。

◎斯んな中ががらんどうなお父さんが國家の中堅を爲して居るから、日本は何にもかも駄目なのだ。日本の戰後經營問題は、お父さん階級に活路を與へて、彼等をしてもつと生甲斐のある生活に入らしめ、彼等をして生氣發溂たる活動家たらしむる必要がある。紺屋の明後日政治では、日本の土臺たるお父さん階級は救はれない。普通選擧が出來て裏長屋から電車で通ふ大臣が出來る日が來なくては、日本の國家改造は行はれない。

◎泣くべき涙も持合せない日本のお父さん階級は、實に同情に値する。國民自發の聲を大にすべき時である。

臺所にて

最下單位の簡易生活

柳八重子

職務を片手にもつて、臺所働きの三ケ月、私の經驗は期せずして所謂「簡易生活」の最單位を體驗したのでございました。これはまことに望外の悅び、有がたい賜なのでございました。私はこれに由つて私の生くる道の發足點をはつきりと觀ることが出來ました。從つて行くべき道をしつかりとつかんだ——只今の私の精一杯で——氣持がします。

ま、こんな問題を持ち出すことは夕飯が濟んで、子供たちが寢についてからのこと、臺所で働らく時は、あまり考へごとをしてゐると仕事が捗りませんから止めにしませう。

○

出來るだけ短かい時間を以て最も合理的な働らきをしたいと日々工夫して居りますが、臺所の作業に必要な條件は第一に「手の早いこと」です。マラソン競爭の決勝點を睨んで、息もつかず突つ立つ時、そこに湧く興味と壯快な感じを、何歳になつても持つてゐることが、どんなに意味多いことでせうと、此の頃つくづく想ひます。臺所に慣れないと、たまに手を下しても刻みもの丶速力が小さい女中にも及ばなかつたり、味噌を擂る腕がぢきくたびれてしまひます。私は子供等に幼い時から何をするにも手早くといふ習練を積ませたいと心掛けて居ります

○

設備と申すと大業に聞えますけれども臺所一體の構造迄でなくとも、諸道具を必要なものだけ(なるたけ數少なく)手順よく使へるやうに配置して置くことは容易なことです。但しこれはいくら敎へても人任せでは直にくづれてしまひます。主婦自ら流しもとに立てばさうしないでは居られなくなります。そして經驗を積むに從つて工夫がいくらも湧いて來ます。只今私の小さな臺所で最も活躍してゐるものは「火なしこんろ」です。それも今使つて居るのは空樽に藁蒲團をつめた手製のものです。午後に使ふ煮物を朝の手序に鍋に仕掛けて、煮立たせただけで火から下して此の中に入れて置けば、ひとりで柔らかになつて居るのですもの。但し少し困るのは鍋の作り方です。以前は獨逸製琺瑯鍋の共蓋がきつしりしたのを使ふのが一番適してゐたのですが、近頃は手に入りませんから、在來の型のを使ひますと大抵は木蓋で隙澤山ですから湯氣が多分に放散して藁蒲

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

圓が濁れて役に立たなくなりますから、替りを用意せねばなりません。土鍋は比較的此の要件に叶ひます。鍋の型から注文がいります。改良といふことは手輕にできるとばかり考へますと失望しますから、私は根氣をつよくしたいと存じます。

○

時計を相手にすることが肝要ですね。これだけのゆでものは凡そ何分と必要の時間を實驗から胸に置いてかゝると、仕事の豫定と順序がらくにつきます。手あたり次第は第一禁物と存じます。時計は一個臺所に備へて置くべきものでせう。次は身支度、割烹衣の自分に適ふのをしつかり着込んで、手頃の手拭を左の側にピンで止めて置けば身輕に働らけます。

○

買物と調理に手數のかゝらないことをつとめて居ります。買物も人手があればあるにまかせて度々買ひ出しますが、それは出來ない約束をもつてゐるですから、買ひに出れば少くとも一週分だけ、今明日に使ふ品、二三日うちに使ふもの、次週に廻つてもよいものといふ程の順序をたてゝ求めます。肉類でも一部は味噌漬、醤油漬などにして置きます。野菜でも、ほうれん草など一時に澤山ゆでゝ置いて、浸し物に、あへものに、汁物になどゝ使ひわけます。煮豆も交る〴〵色々の種類を煮て置きます。又保存の出來る食品をなるたけ備へて置きます。殊に加工した品を日常用にもなるたけ用ふることにします。例へばごまあへなどは營養上にもよいものですが、手數がかゝりますから落花生バタを使ふといふやうに。そして時間に餘裕があらば、なるたけ手廻しのため、この加工をして置きます。鰹節は削つて置く、煮出し、合せ醤油もいつも若干分だけ作つて置く。できることならば、飯米類も一旦蒸して乾燥させて、清潔な容器に入れて賣り出すことになつたらばと思ひます。炊いで配達することを考へておいでの方も大分ありますけれど、それまでの途順としてこれもよいかと思ひます。

子供の知慧

□おこう〳〵の夢

正月二日の夜、町を「お寶〳〵」と呼んで賣つて歩るく聲がすると、耳ざとく、聞きつけたやあちやん（六歳）は「お寶つて何？」と聞きます。「お寶は今晩枕の下に入れて寢ると、よい初夢を見るつて云ふのです。紙で船の形が畫んであるの」と云ふと、やあちやんは貰れて「どんな夢がよい夢？」と尋ねますので「富士山だの鷹だの茄子だのがよいと云ふのです」と申しました。翌朝やあちやんは「ゆふべは富士山も、鷹も、〇〇〇おこう〳〵の夢も見なかつたわ」と申しました。

化粧いらず
改正定價 金一圓五十錢 送料書留九錢

ふけしらず
大瓶 一圓 送料八錢
小瓶 廿五錢 同

草津温泉と同効力ある
チヲゾナ石鹼
一ダース 二圓二十錢 送料八錢
一個 二十錢 送料二錢

蛋白質に富む
植物ミルクフード
見本袋入 十錢 郵税二錢
三十回分 五十錢 小包料 市内 四錢 内地 八錢 滿、鮮、臺、樺、金廿錢

救命瓶
並製 金三圓廿錢
特製 金五圓
學生用一組 金一圓四十錢 送費 内地廿錢。滿、鮮、臺、樺、金五十錢。海外金一圓
理學的救命瓶扱法の栞 定價三十錢 送料二錢

婦人週報社代理部取扱
振替東京三一六六〇番

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

舊都の正月

奈良から

佐久千代子

口暮の氣分

春日のおん祭りも濟み之からそろそろお正月の仕度と云ふ廿二三日頃にもなれば、お餅搗きの注文取りが參ります。都合の好い日取りを定めますと、「糯米を取寄せて置いて下さい、搗く前日に洗ひに來ますから」と云ふて歸り、間違ひもなく其日には四斗樽下げた二人の人が洗ひに參りました。翌日は臼、杵、お釜、蒸籠の道具を車に滿載して搗きに參り、街道にお釜を据えて糯米を蒸し、臺所に臼を持ち込むで二人が搗きますと、一人は水を打ちながら一間程もあらうと思ふ細長い棒の先きで、お餅を上下にとかへします（此地では臺所が土間にあります。此處も、玄關先きに當る土間も、總稱して庭と云ひ、茶の間に當る處を臺所と云ふさうです）搗き上げる「ちぎりだすか、のし餅だすか」と申しますので、土地の風習を知らない私はちぎり餅を何に使ひますの、と尋ねました。處が「こちらは三ヶ日のお雑煮は丸餅やさかい、東から來なはったお方は皆のし餅だす」と云ふのです「そんなら半分づゝにしませう」と云ふてお餅のしの手傳ひを致しました。

口松飾りと注連飾り

普通の家の松飾りとしては、長さ一尺内外の根掘の松に熊笹と梅の三種を併せ、根元を紙に包み水引かけて、入口に釘付けに致して置きます。公けの建物や大家の門前には丈け高い松を主として、そぎ竹を三本、之に苔付きの立派な梅を添へ、七五三に縄で結び、根元の砂を盛つた處には一面に熊笹を挿します。輪飾りも東京とは餘程格好の違つたものが御座いますが、入口にはゴンボーと申して、「東京の商家抔で神棚に能く見受ける縄の縒り目の眞中が極く太く出來たものがあります」と、之に橙、裏白、ユヅリ葉を付けて飾り、海老やこんだはらと云ふ様な品は見られません。其代りどんな家でも注連に裏白ゆづり葉を付けて、殘りなく間口だけ飾る處は、東京では一寸見られない圖です。福包みも紙が丁寧に疊まれて、中身も東京程は入らぬ様に見られました。鏡餅の上には昆布一枚を引き其上に串柿一本と橙を飾つて御座いました。

口新年會と大晦日の感

元日には市の公開堂に集つて年賀の祝詞を取かはすが例年の習慣で御座いますさかで、廿七日頃には辨當料五十錢持參と記した顯微鏡の下に置いたらゾットするだらうと思ふ古風な箱入りの帳簿が隣りから隣りへと廻つてきました。こうして愈々大晦日になりますと朝から「祝ひ豆腐要りまへんか」と豆腐屋が來ます。「つごもり蕎麥よろし」と街道をそば屋が通ります。奈良は何事にも古典的な感じの絶えない處其中でも、大晦日に此そば屋の聲は一入云ひ様のない錆びた感じが心の底から湧き出しました。商家の娘さんが小奇麗に身整ひして三十日迄でに得意先きの勘定を殘らず集めてしまひますので、大晦日の夜の商家は名刺受けの裝飾でも濟ませ、早く戸を締めて睡つた様な靜さで御座います。稀にからころと凍つた道を往き來る二三の人々の足音がはたと止まると、「つごもり出來なはつたッ」と聲高な話しが聞える計り、東京のあの華やかな火の下に、めまぐろしい人の往きかひが、

お化粧問答

問 お正月に外出勝ちのせいですかも知れませんが、手足が荒れて困つて居ります。（大阪秀子）

問 身を切るやうな冬の寒さには誰人も手足を掩ひながらも、遂に荒らし易いものです。一度荒れますと中々直すには手數がかゝりますが、可成水仕事はならぬ様にして絶えず外界の刺戟を豫防する方法を採り、可成三十分間毎に一度手を拭きまして少量のクラブ美身クリームを塗つて、揉み乾かすやうに致さねばなりませぬ。水仕事をなさつた場合は手拭で直に拭き乾かし夫からクラブ美身クリームで摩擦を行ひ決して濡れて居る儘自然に乾かすやうな事をしては不可ないのでございます。尚ほ冬期は溫湯と冷水とを混用する事は避けねばなりません。それから就眠の際にはクラブ美身クリームか、又はクラブ美身ゼリ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

此地の人々にはどうして想像がつきませう。除夜の鐘の聞きたさに、火桶の灰を掻き立て〳〵、一年間の過去を心静かに考へて居りましたが、八時頃大佛の鐘が十二三聞えた計り、大正七年の奈良の天地は静かに寂かに暮れてしまひました。

□お雑煮と三ケ日の光景

大正八年の曙光は静かにさし昇つて、家毎にお雑煮を祝ふ時が参りました。此地のお雑煮はお味噌仕立ての中に、丸ぎり餅、里芋、豆腐の類を入れ、黒豆の中には細かく切つた胡蘿蔔、牛蒡又は薑を入れるそうで御座います。又此處には棒鱈は御座いませんが、藤蔓の様になつた干鱈を冷やして賣つて居ります。之はどんな家でも祝ひ物の一つとし必ず煮て用ひると云ふ事です。九時頃には酒造制限令には反對論者らしい屠蘇機嫌の年始客が、酒は飲むべし百藥の長抔と高らかに吟じて、前の路を通つて行きます。追羽根の響きがあちらにもこちらにも致しましたので、外へ出てつい大佛の方迄で行きました。今年中の開運を祈るらしい善男善女が大佛の前に踵を次ぎ、停車場と大阪から來る電車より吐き出された恵方詣りの人々が、春日神社に往き來するので雑沓でした。三ケ日の間は物賣りの聲もなく商家は店を開きません。只名刺受けが、簡單を好む家では入口の格子戸に箱を括り付けて置きます。けれども大抵の家は屏風を立て廻し、机の上に名刺受けを置き、少し凝る家は金屏風を立て廻し、立派に花を活け、又は大きな松の盆栽抔飾り、唐櫃様の名刺受けを置く様は、商家としては珍らしく古風に思はれました。夜は又早く更けてどこ迄でも静かで御座います。良い意味では厳粛と云ふのでしやう。松は十三日の朝引くのですから、東京の七日の松の内よりは、彼是倍程長くなる譯で御座います。

此の頃の野菜料理

女子割烹學校長　指原乙子

□午房のふくめ煮

午房の皮目をたわしでこすつて洗ひ、八分位の輪切りにし鍋にたつぷりの水に糠を半握り位入れて、軟かく茹で、一度水にとつて洗ひ、出汁を三合位入れ、砂糖二十匁(スープ匙にたつぷり一杯)加へて、汁が半分につまる程に煮てから、醬油を四勺程入れ、汁が殆どなくなる迄煮て後、そつくり丼に入れて、その儘蒸籠に入れて三十分以上蒸します。箸が徹る程軟かくなるのが自慢で、大きければ一切れ位つけて出します。

□蓮根と人參の落花生酢和へ

五人前として蓮根が二三錢、人參半本。蓮根を節から切つて、一寸ノまり位に輪切りにし、縦の中程に庖丁を入れて、薄く刻んで水にさらし、蓮根三節につき、出汁三勺砂糖中匙一杯、鹽小匙輕く一杯をにたてゝその中に蓮根を入れて強火にて かきまぜながら白く煮上げます。かきまぜるのは白く煮上げる爲めです。

人參は蓮根と長さの揃ふ程に切り、横に皮をむき縦に切つて薄く刻み、水から軟かく茹で出汁二勺砂糖小匙一杯、醬油一勺足らずで下煮をします。

別に落花生五勺程澁皮をむき、乾いた擂鉢ですり、酢を二勺足らず入れてすりのばし、人參と蓮根の煮汁を切つて入れて和へます。小丼に盛つて出しても、附け合せにしてもよいものです。

□缺き百合白煮

百合の苦味をさるにはどうしたらよいかとは、よく皆様から聞かれることですが、それは次のやうにすれば形がくづれずに苦味がとれます。先づ百合根を一つ宛はがして、汚い處はとつて鍋にたつぷりの水を入れ、焼明礬を小匙山盛一杯入れ、その中に百合を入れて茹でます。一と通り火が通つたらば、茹で湯を捨てゝ一旦洗ひ、水氣を切り、砂糖をスープ匙に山盛一杯水三勺餘り、鹽小匙三分の二を入れ、汁がにたつたらば、百合を入れて、火を輕くし蓋をしてこと〳〵と煮ます軟かくしてかもくづれずに煮えます。

ーを軀から指先まで隈なく塗り込み、よく摩擦して置かれる必要があります、その際寛き手袋をはめて就眠されるやうにされたら、實に理想的なものでございます。右の方法を採られましたら荒れも日ならずして直り、美しい手となります。尚ほ絶えずクラブマッセークリームでマッサージを行ひますれば生目細やかに柔軟やかな手になります

(京都藤子)

問　固煉白粉を薄く溶くには、何で溶くのが一番良いのですか。

答　固煉白粉は雨水で溶くのが宜しうございます。近來化粧品の發達に連れて雨水を用ひず、クラブ化粧水の如き澄明な化粧水で溶きますれば、白粉もムラなく溶けますし、肌に綺麗にのります。

御質問は大阪市南區水崎町、中山太陽堂或は東京市京橋區鍛冶橋外中山太陽堂家庭顧問係宛ての事。

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

アリスの冒險（十二）

悠子

「おや〳〵　ほんとにどうしたのだらう。私の手袋と扇ふものとは何處へいつてしまつたのだらう。どこへ落したのだらうか。」

こんな事を云ひながら　白兎はバタ〳〵と音をさせて、こちらの方に歩いてきました。アリスは直に

「あゝ、あの手袋と扇子を探してゐるのだな」と思ひましたから、自分も一緒になつてさがし始めました。けれどもどこにも見當りませんでした。池の中を泳いてきてから、あたりの樣子がまるで變つてしまつて、立派な廊下も硝子のテーブルも、少さな入口もみんなどこかへなくなつてゐました。

間もなく兎はアリスを見付けて「おい〳〵、メリー、何をしてゐるのだ。早く家へ歸つて私の扇子と手袋を探しておくれ早〳〵」と少し怒う氣味で申しました。アリスは大層びつくりして、自分はメリーではないといふ閑もなく、兎が指さす方向へ驅け出して行きました。かけながら、

「兎さんは私を女中にしたのかしら。私がそうぢやない事が分つたら、どんなに驚く事でせう。けれど扇子と手袋が見つかればいゝのだから、まア行つて探してあげませう」とこんな事を云つて居ります内に、小じんまりした家の前へ來ました。入口には眞鍮の板に「白兎」と刻つてありました。

アリスは急いでその内に入りました。そして二階に上つて行きました。もしもほんとのメリーが出てきたら大變だと思つたものですから、あはてゝ驅け上りました。「兎のお使をするなんて、ほんとに可笑しいこと今に家のディナーも私にお使をさせるかもしれない。そして『アリスさん、直においでなさい、散歩に行く支度をするんですよ直に〳〵。』っていふかもしれない」などゝ考へてゐました。やがてアリスは少さいお室に入りました。其處には可愛らしいテーブルが置いてありました、その上にさつきから探してゐる手袋と扇子が乘つてゐました。

急いでそれを取り上げて室を出やうとしますと、フト目に入つたものがあります。

それは少さな壜で、何にも紙がはつてありませんでしたけれど、アリスは直ぐキルクを拔いてみました。そして「きつと何か面白い事が起るかもしれない」と云ひながら、少しそれを飲んでみました。「又私の身體がもとのやうに大きくなればいゝがもうこんなに少さいのは飽きあきしたから」と云つてゐる内に、不思議な事にはアリスの身體がだん〳〵延びて行つて、頭が天井につかへてしまひましたので、急いで首を縮めました。

「もうこれ以上大きくならないで欲しい。そうでないと此處の家から出られなくなつてしまう」

と思ひながら、あんなに飲まなければよかつたと後悔しましたが、もう遅うムいました。アリスの身體はどん〳〵〳〵〳〵大きくなつて行くばかりでした。「私はどうすることも出來なくなつてしまつた。どうしたらいゝでせう」とアリスは泣聲でかう云ひました。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

文苑

黒と赤の薔薇(二)

K子

あゝそれから、沈丁花さん、あなたは愛の國を知つて居なさいますか?

愛の國の物は何んでも皆美しいのですね。みすぼらしい物も愛の國へ入ると皆豐に成ます。小さい物は大きくなりますね。好い國ですね。沈丁花さん。あゝ、御覧なさい。彼處へまたいつもの小鳥が來ました。あれ彼様に幸福相に飛び廻つて地面の上の虫を探して喰べて居ます。忙しさうに探しては子供に分けてやつて居ます。彼小鳥は今にまたきつと私達の爲に愛の歌を唄つて呉れます。

では、さようなら。沈丁花さん

赤い薇薔は、沈丁花と話し終へると、もう一度黒薔薇の方を向いて嬉しさうに微笑み交した今迄朝の食事を取る爲に忙しく地面の上を探し廻つて居た小鳥は此時小さい羽ばたきをして上の方に飛び上つて、可愛らしい囀りを始めた。

「嬉しいことよ皆さん
好い御天氣で。
太陽の美しい笑顔の下に
我等は歌ふ。
あれ見よ園丁は今日もまた
鋏の音を高く響かせつゝ
いそしみて働くよ。
いざ我等もいそしまん。」

小鳥は斯う唄ひ乍ら樹の枝から枝へと快活に飛び歩るいた。丈夫らしい園丁は鋏を腰にはさんで日に燒けた顔を彼方此方の花共に向け乍ら芝生の中の小徑を歩るいて來た。彼は足下の水仙の葉の歪んだのを直して遣つてから赤い薔薇の傍へ寄つて、花の莖へ手を添へて暫く花の面を眺めて「オヽよく咲いたねお前」と言つたが、やがて腰の鋏を抜き取つて枝の所々へ鋏を入れ始めた彼はそれがすむと、沈丁花や錦木やあれこれと手を入れて居たが、それも終へて今度は黒薔薇の傍へ寄つた。彼は優雅な品の好い是花を凝と眺めて「なんていふ好い花だお前は。」と言ひ乍らまた枝へ鋏を入れ始めた。園丁の親切な手で蝕んだのや枯れた葉を取り去つて貰つた花共はどれもこれも皆氣持よさそうに生々として日の光りの下に輝いて見えた。チュッ〳〵と囀る小鳥はまた高く飛び上つて、

「大きい黒薔薇
可愛い紅薔薇
今日もまた愛せよ
豐にも愛せよかし。
温い太陽の下に
清らかな園の内に
幸福な生命の調べを
奏でつゝも愛せよ。」

一羽の小鳥が斯う唄ふと、他の小鳥はまた羽ばたきをして、

「立派なる黒薇薔
可愛ゆき紅薇薔
今日もまた相見て
微笑みてありや。
物皆のいそしむ
幸福な春の園に
誠と美と生命とをもて
靜にも愛せよかし。」

と可愛い聲で歌つた。そして二羽の小鳥は樂しげに飛び廻つたが、今度は一つの枝に止つて、二羽聲をそろへて合唱を始めた。

「我等が園なる春の花
いざ笑めよいざ歌へ
いざいそしめよ汝等が營みに喜びてつとめよ
喜びて愛せよや
愛の氣息は物皆を生かす
美しの愛の花よ
汝が首には愛の露みてり。」

幸福な小鳥の合唱の間に、園丁はチャキ〳〵と鋏の音を立てゝ働いて居たが、それがまた伴奏のやうな響をもたらして、小鳥

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

の歌と氣持よく調和するのであつた。

是花園の主人に娘があつた。彼女は日毎に此園の内に姿を現した。そして蜜蜂のうなりゆるやかな小徑を花の芳香に包まれて、花園の女王の樣に彼方此方と歩き廻るのであつた。

今日もまた娘は家の扉を開けて階段の所まで出て來た。彼女はふさやかな髪をゆるく束ねて健康さうな皮膚の色をした豊な身體を地面の上に下り立たせた娘の輝いた小鳩の樣な眼には、どの花も〳〵皆大變に可愛らしく見えた。で彼女は柔和な微笑みを浮べ乍ら數々の花を眺めやつた。水仙が小さい氣高さで咲いて居る。すみれが可愛らしく首を傾け乍ら強い香りを放つて居る。錦木が紅い葉をつや〳〵さして居る。娘はそれ等の傍を通り抜けて、段々鋏の音の方へ近づいて來た。

「好い御天氣ではないの。」と彼女は餘念もなく鋏を動かして居る園丁に聲を掛けた。すると園丁は若い女主人の方へ向いて

「あゝ好い御天氣で御座いますね。」と會釋したが、四邊をずらりと見廻して自慢さうに言つた

「如何です御孃樣。皆よく育ちましたでせう。」

「あゝ、ほんとにね。奇麗に咲きました。御前の手入がよいから。」斯う言つて見廻すやうに首を廻らした娘は紅薔薇を見た。

「オヽ、私の好きな可愛い花よ。御前は咲いたのね。」と言つて兩の手をのべて花を抑へ乍ら、あえかな花の面を凝と見入つたが

「黒薔薇は如何して。」と探すやうに振向いたので、園丁は、

「よく咲きまして御座いますよ」

と答へた。娘はつか〳〵と黒薔薇の傍へ寄つた、優雅に開いた花を見ると、

「マア立派ではないか、なんと好い花なのだらう御前は。若くて強い騎士のやうに凛々しく見える。御前の微笑みの晴れやかなこと、けれども靜に落付いて居るのね。そしてまあ御前は彼の可愛いゝ紅薔薇と美しく向き合つて咲いて居るではないか。御前達は愛して居るやうに見える。」娘は斯う言つて柔軟な兩の手を胸の所へ凝と組み合せて暫し默つて居たが、今度は紅薔薇の方を向いて、

「御前達はほんとに幸福さうに見える。そんなにも深く愛して居るのかい？ そしてそんなにもお互が必要なのかい？ まあ御前達の花瓣の上の露の一滴のうちにも、滾々として溢れる愛の泉の姿が見えるではないか。私は其泉をくんで貴い愛の力を心ゆくばかりに味ひたい。御前達の愛がどれ程美しいか、どれ程優しい庇護ひと素直な仕へをしあつて居るかを見たい。御前達の愛は私には氣高いものゝやうに見える。お前達はなごやかに微笑み交すのだね。」

娘は斯う言つてから黒薔薇の方を向いて、

「黒薔薇よ、私はお前と御前の愛し花とを彼方に御上げしたい。御前達は私が彼方に御上げする愛の贈り物にふさはしい。」

彼女は園丁を呼んで鋏を求めた。

「これとそれをとるのだよ。」と娘が言ふと、園丁は、

「へイかしこまりました。」と答へて直ぐに鋏を動かした。

「ハイ御孃樣」と彼の渡すのを受けた娘の白い手に、二つの薔薇は一緒に收められた。

「有難う。」と娘は園丁に挨拶して、日の光麗な小徑を家の方へ歩んでいつた。

黒薔薇と紅薔薇と、春の目覺めに奇麗に咲いた二つの花は、可愛いゝ小鳥達の朗らかな祝福の歌に圍まれて、その愛の面をひたと近くあはせて、限りもなく滿足して微笑んだ。（をはり）

十八

豫告

次號より左の小說を揭げます

「勝利」

阪東みち子女史

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

詩事

□新年歌御會始　天皇皇后兩陛下には、十八日宮中鳳凰の間に於て歌御會始の式を行はせられました。御製御歌及び選歌左の如し

御製

ゆたかにも雪そつもれる秋津しまめぐりの海は朝なきにして

御歌

青雲にほふ日かけものどかにて雪さへかすむこのあした哉

◆選歌

從宮內省掌典正六位勳六等　臣源朝臣寬篤上

はれわたる廣野の雪にはてもなき御代の光のみゆるけさかな

滋賀縣平民勳八等　中野善次郎上

うちわたす浦の松原ゆきはれてみちたるしほに朝日さすなり

和歌山縣南松尾村村社春日神社社掌　林　善六上

にきはへるなにはのみやこ空はれて煙よりのほる朝けふりかな

京都府平民　竹內爲右衛門上

雪はみな野山のものとなりはててみさりにはるゝけさの空かな

千葉縣平民　澤田總平上

はれ渡る雪のあしたにみる時は世にきよからぬものなかりけり

岡山縣平民　岡武はつ子上

去年のいろはよのまの雪にうつもれてのほる初日のかけあらたなり

大分縣平民　高山ますよ上

千里まではれわたりたる雪の上に年のはつ日の影そかゝやく

□閑院宮御渡鮮　閑院宮同妃兩殿下には故李太王殿下國葬當日御名代として御渡鮮あらせらるゝ事となりました。

◉**李太王殿下薨去**　京城德壽宮に在せし李太王殿下には一月二十一日午前一時四十五分、突如腦溢血を起し給ひ、翌廿二日午前六時遂に薨去あらせられました。東京近衛聯隊御勤務中の李王世子殿下には廿二日午前八時半東京發御歸鮮遊ばされました。廿五日御舉行の筈なりし王世子殿下と梨本宮方子女王殿下との御婚儀は無期延期となりました

◉**李太王國葬**　李太王殿下の御葬儀は特に國葬とするに決し、廿五日の議會に於て國葬費十萬圓を可決され、衆議院は哀悼文を決議しました。國葬期日は多分二月末頃との事です。

◉**講和會議開始さる**　十八日巴里發電──講和會議は本日午後三時開會し、ポアンカレー氏開會の辭を述べ、委員に對し歡迎の意を表し、次に講和會議地として巴里を選擇せしを感謝し、各國民が今次の大戰に參加せし理由を概說せり。氏は更に述べて曰く、「今次の勝利は完全なる勝利なり、委員は此完全なる勝利より十二分の結果を收めざる可らず。戰爭の爲め一致團結せる聯合國は、平和の爲めにも亦從來の一致團結を繼續するを要す、諸君は共審議に於て須臾も正義の精神を念頭より去る可らず、獨逸は鐵を以て支配せんとし、遂に鐵の爲に倒れたりと。」ポアンカレー氏は進んで國際聯盟の創設を推奬したる後、結論して曰く「世界の將來は諸君の掌中に在り、予は愼重なる審議を諸君に委す、余は茲に巴里講和會議の開會を宣すと。」

◉**國際聯盟可決さる**　一月廿五日巴里に開かれたる講和會議第二日に於て、左の諸件は可決されました。蓋し人類歷史あつて以來至重至大の記錄と申せませう。

▽聯盟案に關する決議案

甲、世界的解決を議定する目的を以て此處に會合せる聯合各國は、其解決方法を維持するには國際聯盟を組織して、國際協同の力に依り、可決したる國際義務及戰爭防止の實行を期するの手段あるを緊要とす。

乙、國際聯盟は一般講和條約を分割すべからざる一要素とし、之が目的の達成を信賴し得べき各文明國の加盟を許す。

丙、國際聯盟を構成する各國は、定期的に國際會議を開き、又會議を開設せざる期間中同盟の事務を執行する爲、常設事務所及び書記役を設置す。因つて會議は國際聯盟の規約及職務を詳細に規定する爲、聯合各國を代表する委員會を任命す。

▽戰爭法規違反に關する決議案

五大國より各二名、他の諸國より選出すべき五名の代表者を以て、委員會を組織し、左の諸件を調査報告せしむ。

第一、戰爭發頭人の責任。

第二、獨逸及び其の各同盟國が陸上、海上及び空界に於て戰爭の法規慣例に違反したる事實。

第三、此等の罪犯に對する敵軍各違反者の責任の程度、此違反者中には各司令部員及び商人をも含み、總て其地位の高下を問はず。

第四、此等の罪犯を審問すべき裁判所の構成法及び裁判手續。

第五、又廣く同質の事項に關する件。

▽補償の件に關する決議案

五大國より各三名を超過せず、又白耳義、希臘、波蘭、羅馬尼、塞爾維より各二名を超過せざる代表者を以て、委員會を組織し左の諸件を調査報告せしむ。

第一、各敵國の支拂ふべき補償金額

第二、敵の支拂能力。

第三、支拂の方法形式及び期間。

▽産業及び勞働問題に關する決議案

五大國より各々二名、他の諸國より選出すべき五名の代表者を以て委員會を組織し、國際的立場より條件を調査し、及び雇傭條件を變改せしむべき事件に接する場合、共同行動を取るに於て必要なる國際的手段を考察し、又國際聯盟と連繫し、其指導の下に、叙上の調査審議を繼續するの任務に當るべき常設機關の組織方を報告せしむ。

五大國より各々二名、他の諸國より選出すべき五名の代表者を以て委員會を組織し港口、水路、鐵道の國際管理方法を調査報告せしむ。

◉**國際聯盟委員**　五大國の國際聯盟委員は左の如く決定しまし

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

た。

米國　大統領ウイルソン氏、ー・エムハウス大佐
英國　ロバート・セシル卿、ジヤン・クリスチヤン・スマッツ將軍
佛國　レオン・ブルジヨア氏、フエルナン・ラルマウド氏
伊國　首相オルランド氏、ヴヰテリオ・スキアコアイア氏
日本　珍田子爵、落合謙太郎二

◉各政黨の勢揃ひ　政界の變局に對する帝國の態度を定め、戰後の經營策を議する重大な第四十一帝國議會は、愈廿一日より休會明けの幕を開きました。我黨内閣の政友會は十九日本部に大會を開いて宣言決議を發表し、在野黨たる憲政會と國民黨は、廿日夫々大會を開いて、今議會に對する陣容を整へました。

□衆議院の質問論戰　休會明けの衆議院は、廿一日午後一時より開會、原首相、内田外相、高橋藏相の施政方針演說あり、質問戰に入り先づ片岡直温氏に國際聯盟、軍備制限、撤兵廢止、西伯利出兵、社會政策等に關し政府の意見を訊し、原首相内田外相、高橋藏相の答辯あり、西村丹次郎氏に西伯利出兵、食料問題、物價調節等の問題を提げて外相、山本農相、藏相の答辯を求め、下岡忠治氏は更に食糧問題に就き追窮し、押川方義氏は小學教員待遇問題よりデモクラッシーに論及し、原首相の答辯あり、第一日を終りました。

廿二日午後一時十分より質問戰を續行し、翌月小太郎氏は外交問題に就き、長口舌を振ひ、日支軍事協約、對過激派、東清鐵道講和方針等の諸問題に就き、原首相、内田外相の答辯を促し、木下謙次郎氏は國防問題を、齋藤隆夫氏は民本主戰論をなし、村松恒一郎氏に物價調節、正木照藏氏は船舶管理令廢止、文官任用令廢止を叫び、北井波治氏は、文官任用令廢止と米騒動に就き原首相と床次内相の答辯を得、兒玉有二氏危險思想排斥を述べ、普通選擧に對する政府の考へを訊し、高木益太郎氏は樞密院改正論をなし質問全部を終りました。

□貴族院の質問　貴族院に廿一日午前十時より開會、三大臣の演說後、前農相仲小路廉氏は米價問題にて山本農相に肉迫し、服部一三氏亦米食制限に就き質問し、首相、農相の答辯あり、第一日を終り廿四日第二日を開き杉木彩之助氏は高等教育機關擴張は可なるも寄附金に俟つは不可なりと論じ、高橋作衛氏は東清鐵道問題等の外交問題に就き、山脇玄氏は社會問題に就いて質問しました。

◉新勅選議員三名　廿七日左の三氏は勅選議員に任命されました。

正三位勳二等　大山綱昌
從三位勳三等　大谷靖
正四位勳四等　高橋琢也

◉憲法發布卅年記念　來る二月十一日紀元節は憲法發布三十年記念日なるより、東京市にては明治神宮外苑に祝賀會を擧行し、内閣にても祝賀會を開く由にて、同日花の日會にては布製の薔花を賣り、純益金は臨時救濟の費用に支出するさうです。

◉講和豫備會議公開　十四日より開かれた聯合國講和豫備會議には、新聞通信記者を入場せしむる事となりましたので、會議の内容は公開される由傳へられます。

◉伯林の秩序恢復　過激派がエーベルト政府に反抗した爲、一時大騒亂を起した伯林は、過激派の敗走に依り、秩序全く恢復し、其首領リープクネヒト等に伯林を逃れ出で、軍隊の多數は政府を補助して居ります。

◉亞國政府顚覆陰謀　南米亞爾然丁共和國首都ブエースアインス市に同盟罷業起り、諸官廳襲撃、市街戰等行はれましたが、無政府主義者の逮捕されたもの八百名に及んで終熄しました。亞國過激派が同國政府顚覆の陰謀を企てたものでありますさ。

◉リープクネヒト慘死　獨逸過激派の首領であつたリープクネヒトは兵士の爲に殺害されたと傳へられます。

◉獨逸から歸る邦人　獨逸に俘虜となつてゐた日本人中四十四名は郵船伏見丸にて一月十一日倫敦を發し、歸朝の途に就いた旨、郵船會社に入電ありましたが、三月上旬には神戸着の筈でありますさ。

◉米國輸入制限廢止　米國政府は綿米製品を初め殆ど一切の輸入制限を一月十三日より撤廢しました。

◉新無線電信の發明　米國海軍省官吏は、戰時中極秘に附されてゐた地中及び水中より無線電信を使用した事を發表しました。此發明はメリーランド州のジエームス、アー、ロージヤー一人の研究に成つたもので、戰時に於ける科學的大進步の一であります。

◉寧子の方逝去　大正七年五月廿九日淺野長動侯令孫長武氏に御降嫁あらせられた海軍中將伏見若宮博恭王殿下第一王女恭子の方には、御降嫁後寧子と申してゐられましたが流行性感冒の爲一月十七日午前二時本鄉彌生町の本邸に逝去されました。享年二十二才。

◉大阪外語に百萬圓　大阪市海運業者林竹三郎氏未亡人てう子は、昨年十月死亡したる夫の遺言に依り、今回建設に決したる大阪外國語學校に金百萬圓の寄附を申出でました。

◉有地品之允男逝く　樞密顧問官海軍中將有地品之允男は、肝臓癌の爲十七日逝去、享年七十七。

◉佛飛行團所澤視察　フォール大佐以下の佛國飛行將校團は、二十日所澤飛行隊を視察し、埼玉縣主催の大歡迎會に臨みました。二十一日東京發濟松及び各務ヶ原を視察します。

◉女流飛行家ロー孃來る　米國女流飛行家ルース、ロー孃は二十二日横濱入港の天洋丸にて來朝しましたが、我が民間飛行俱樂部主催となり、二月一日深川埋立地で歡迎飛行會を催す由。

◉瓦斯値上反對大會　東京瓦斯の値上案は未だ市會で決定を見ませんが、過日來各區の反對運動猛烈となり、廿日青年會館に市民大會が開かれ、其餘波は流れて芝紅葉館に開かれてゐた市長の議員招宴會に押掛け、市長や贊成議員に談判する趣がありました。

◉朱葉會第一回洋畫展　女子美術出身者を主とし、閨秀夫人名流婦人等より成る朱葉會は、廿日から廿四日迄三越に第一回洋畫展覽會を開きました。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

●伊太利大使館燒失　廿六日午前十時半霞ケ關伊太利大使館より出火、全燒しました。原因は竈の火。

●全米國禁酒實現か　米國ネブラスカ州にて酒精使用を禁止し、三十六ケ州の州議會は米國内に於ける禁酒の實施に關する米國憲法修正を可決しました。此結果一ケ年内に米國全部の禁酒が實行されるであリませう。

●成瀬校長病む　日本女子大學校長成瀬仁藏氏（六十二）は昨年チブス回復後健康兎角勝れざりしが、九月頃より肝臟に故障を生じ、此の程二木、高木、平井三博士の診斷の結果肝臟癌と決定しました。病ひの不治を知るや、氏は廿九日急遽市内近縣の櫻楓會員、在校教職員並に生徒一同を共に講堂に集め、病軀を安樂椅子に載せて運ばせ諄々として後事を托されました。後任校長としては麻生正藏氏を推し、塘茂太郎氏を評議員に加へ、井上秀子を家政大學學監に、平野濱子を學生指導主任に推選しました。

編輯室から

▲編者が廣岡刀自の柩を送つて大阪に赴いた爲め、前號は心ならずも休刊の止むなきに至つた事を深くお詫び申します。この號はその爲め頁數[illegible]して[illegible]の補ひを致しました。▲流行性感冒は再び猖獗を極めて參り、前後左右の家に病臥者を見るのでございます。幸に同人一同は健やかに働らいて居ります。皆樣の御健康を切に祈ります。

人事相談所

本所は婦人週報社の附屬事業として、絶對秘密の下に、結婚調査、人物調査、財産調査、學生品行調査等の御依頼に應じ、親切と誠實を以て其の任に當ります。但し依頼者が至當と思はれる程の低廉な調査料を申受けます。御相談の筋は成べく簡明に書面にてお申越し下さい。萬一面會の必要ある方は、木曜午後零時から四時迄の間にお出で下さい。

東京牛込區市谷田町二丁目十七番地婦人週報社内
人事相談所
電話番町四五六六番

婦人週報（毎週金曜發行）

定價表

△壹部金五錢五厘（郵税共）	
△一ケ月 四部又は五部）金廿二錢	
△三ケ月分	金六拾六錢
△半年分	金壹圓廿錢
△一ケ年分	金貳圓四十錢
△外國一年分	金參圓廿錢

廣告料　御照會次第詳細御回答申上げます

注意
▲御註文は一切前金の事▲郵券代用は必ず一割増の事▲送金の爲替名宛は東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地婦人週報社▲振替口座は東京三一六六〇番▲雜誌發送を以て領收書に代ふ

編輯兼發行印刷人　小橋三四子
印刷所　東京市京橋區銀座四丁目一番地　福音印刷株式會社
發行所　東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地　婦人週報社
振替口座東京三一六六〇番
電話番町四五六六

新學期生徒募集

○文學科新設
來る一月十六日より、文學科を新設し文學思想問題の講座を開く、擔任講師宮田修氏
▲一週二回午后三時半より
（但し該學科は英文教科書を用ふ）

○語學科
英、佛語各組若干名募集す
▲月、水、金三時半より五時迄
右御希望の方は一月十六日三時より始業式に御出席ありたし、尚ほ當日は宮田氏其他の講演あるべし

牛込區市ケ谷富久町
成女高等女學校内
（四ツ谷大木戸停留場より約一丁）
婦人語學會

藤崎式風呂釜

□時間及燃料の經濟□
理髪店用風呂釜家庭用小風呂改良釜各種桶並箱は御注文により如何なる寸法にても迅速に堅牢に調製仕り候
出來合の品も目下之有桶に改良釜を取付け二十二圓より各種取揃へ居り候御一報次第型録進呈仕り候
先頃より木炭部を設け石炭薪炭の廉賣を開始仕り候何卒御試用被下度願上候御一報次第木炭部にては一俵より迅速に配達仕るべく候

東京市牛込區船河原町五番地
釜六商店
逢坂下
電停前
取次電話番町二七七二

内科小兒科
眼科
耳鼻咽喉科
外科
婦人科
皮膚病、花柳病
泌尿、生殖器病

各科分擔
入院應需

院長正六位　矢野貞
醫學士　林亨
新潟醫學專門學校 醫學士　矢野中

牛込區早稻田町三六（犬養邸傍）
鶴卷町停留場ヨリ三丁

復陽堂醫院
兄弟

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

喜谷實母散

萬の藏より子は寶！

身体を强健にしたいとて
可愛い子供が欲しいとて
「神樣に祈願を込めるより」

先づ第一に
喜谷の實母散を
御試し下さい、忽ち希が叶ふて御家庭の平和は永久に保障されます

定價表		送料
試用分	金拾錢	二錢
本法實母散 壹貼	金拾五錢	二錢
同 參貼	金四拾五錢	二錢
同 五貼	金七拾錢	二錢
同 七貼	金九拾五錢	四錢
同 拾四貼	金壹圓八拾五錢	六錢
同 一月分	金四圓	八錢

▲御求めの際は喜谷實母散と御指名を乞ふ

主治効能

子宮病、下腹痛み、逆上頭痛、血の道、足腰冷込、難產流產、白帶赤帶、氣ふさぎ、月經不順、こしけ、產前產後、經閉腹痛

本舖 東京市京橋區中橋大鋸町
喜谷市郎右衛門
電話京橋 五五番 五六番
振替口座 二一五四番

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

診察毎朝及毎夕（但祭日及日曜の他）
院長診察月木金午前及木午後六時
林、蜂間兩副長は目下當院に在勤
東京麹町區三番町卅番地（市ヶ谷見附内）
電話番町 六二二番 五一六番

東洋內科醫院

院長 醫學博士 **高田畊安**

電話ちがさき二番

南湖院

神奈川縣茅ヶ崎海濱（従停車場半里）
河野、高橋兩副長は目下當院に在勤
院長診察土曜日午後、入院診後應需
診察毎朝（但祭日及日曜及土曜の他）

大黒天印 赤 白

宮崎葡萄液

宮崎葡萄液ハ「アルコール」分を含マズ最モ滋養ニ富ミ上戸ニヨク下戸ニモヨロシ御婦人御子供衆ニモヨク頗ルオモシロキ理想的好飲料

大小數種化粧箱
商品切手調進仕候

宮内省御用達
東京市日本橋區通旅籠町
發賣元 **甲斐産商店**
電話浪花八七〇、八七一

◎内科 ◎小兒科
宅診午前 往診午後

藤井診療所

藤井かう子
本郷區彌生町二番地ハノ三十三號
（電車高等學校前下車）
電話新設小石川三五三一

耳鼻咽喉科専門

（入院隨時）

大野醫院

院長 耳鼻咽喉科 **大野喜伊次**
東京京橋區新肴町二番地
電話京橋一〇三五

◎産婦人科◎小兒科

宅診午前 往診午後
病室、産室ノ設アリ入院ノ需メニ應ズ
院長 女醫 **吉岡彌生**
東京市麹町區飯田町四丁目卅一番地
電話番町 二二五七

東京至誠病院

家庭衛生講習會

一、目的 家庭に必要なる衛生及衛生マッサージを教授す。
一、場所 赤坂區新町三丁目四十六番地婦人矯風會本部内。
一、期間 自毎月十六日至翌月十五日水金午後二時より四時迄。
一、講習科 金十圓也前納の事。
一、人員 十名を以て定員とす。（希望者五名以上に達すれば開始す）
一、證書 講習修了者には修了證書を交付す。
一、特典 講習修了者は會員として隨意に傍聽又は研究する事を得。
一、主催 婦人矯風會本部。
一、講習主任 醫師藤井孝。
右御希望の方は至急赤坂區新町三丁目四十六番地婦人矯風會本部（電話芝一七五三）に申込まれたし。

産婦人科 小兒科

井出茂代
東京府内藤新宿番衆町卅一番地
電話番町三六七七番

松下皮膚科醫院

○診察、午前、夜間
○京橋南八丁堀櫻橋際
（電 京 一二三一番）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

和洋 裁縫講習録

共立女子職業學校教師

文部省檢定委員

教氏及大家博士 執筆

卒業一ケ年

月謝僅に卅五錢

三ヶ月一圓・一年三圓六十錢

(美本毎號百六十頁)

自宅獨習 生徒募集

□和服裁縫科

□小物及細工物科

□洋服裁縫科

□袋物科

■國民道德 ■教育學

■裁縫教授法 ■洗濯色染

▲檢定試驗問題解 ▲質疑應答等

■裁縫だつて學校で教へる通りに筆に現はせば獨習が出來る筈です。本會は即ち苦心研究の結果自宅に居乍ら裁縫學校卒業者と同樣の實力を充分に授く。

■小學卒業者には何人にも分る程平易丁寧に初步より高等裁縫迄教授す。

■完結の後は各科別に綴れば、それぞれ立派な大部な書物となり、常に机上にありて教導す。

■良妻賢母の心掛ある人は何人も必ず家庭に一本を備へ付け置く必要あり。

女學生は不完全な間違多き自分の筆記帳を賴りに勉強し、教科書無しに地理や歷史を習ふ樣な不便がなくなる。

内容見本附規則郵券貳錢送れ

教育社會は驚喜し一般家庭の歡迎如沸。先づ規則を見よ

東京神田今川小路

日本裁縫教育會

電話本局四六二二・振替東京三三〇七六

○理想的家庭の常用品○

飲んで氣持のよいコナミルク

滋養の多いコナミルク

朝夕に召上れ

家庭の團欒は活動の泉

發賣元 佐野商會

京橋區銀座二丁目十二番地

個人教授 裁縫手藝

和服、洋服、刺繡、造花、編物、袋物、摘細工

綿細工、絞花、縫細工、堤細工、儀式用折紙並ニ水引結方

茶之湯、煎茶、生花、投入花、盛花、割烹、洗濯

染、絞、琴曲、薩摩琵琶、謠曲

以上各科共何時にても入學を許す

家事、國語、算術、英語、圖書

以上各學科は隨意學修すること得

詳細は規則書(郵券二錢を要す)

東京麴町區上六番町七番地

私立 大妻技藝學校

電話番町一一二〇

振替東京三一六〇九

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

男子品行問題號

婦人之友 二月號

活悲劇 三宅博士
(女子の自殺を論じ到った極む一)

性慾教育の急務と其の方法……左近教授
共に子女に何うして性慾教育を施したら宜いでせうか。左近教授の實驗から出た此のお話は世の親々の最も良き參考となりませう。

憂ふべき男子の不品行及び誘惑に打勝った女の經驗……(羽仁もと子選評)
憂ふべき男子の不品行の數々、これが爲に起る家庭の悲劇、社會の流毒、實例すべて十八篇、悉く血と涙の眞面なる告白、これに對する誘惑に打勝った女の經驗を以て、一々羽仁主筆の情理を盡した細評を添ゆ。

「その放蕩に同化されてゆく妻……(葉子)
□世間で謂ふ捌けた奥樣の心事……(みさを)
□此の父親にして此の娘あるか……(浜子)
□驚くべく忌はしき或家の秘密……(なみ子)
「夫の放蕩から遂に發狂した妻……(菊女)
□これも上流家庭腐敗の一實例……(櫻子)
□夫は亂行放埓一粒種は低能兒……(花子)
□公然たる男子不品行の惡感化……(友子)
□一喝して某紳士の誘惑を斥る……(月見草)
□夫の罪・戰ふ壯烈な妻の意氣……(かへで)
□校長の誘惑をのがれ得た經驗……(勝子)
「娘二人で始めた鮨屋の成功談……(るり子)

粥食習慣復活論 田邊勉吉

朝食としてのお粥の色々……川崎正子

お辨當用サンドウキッチ……色々

最少生活費は幾らかゝるか

懸賞募集 實際の家計
(一等當選)新世帯の三ヶ年……若葉女
(二等當選)二重人格の家計……名なし草
(三等當選)陸軍大尉級の家計……くは子

子供洋服裁縫講義(二)

無駄にならない赤坊の着物……(松岡久子)

絽刺しの額面とその圖案……(川久保春子)

美術洗濯の仕方メリヤス類……(河野富子)

スッキリした化粧法……(遠藤波津)

洋風と和風のお茶菓子……(関口佐吉)

經濟で滋養ある豚肉料理……(山中博士)

長篇小說 一絃琴……上司小劍

長篇小說 幻影……松居松葉

歷史小說 愛と劍……松本雲舟

西洋小品 愛の成功へ……松岡久子譯

繪畫小說 並び行く道……島本久惠作 伊東深水書

定價廿八錢稅一錢半 半年稅共一圓六十八錢

東京雜司ヶ谷 婦人之友社
振替東京壹壹六〇〇

一個あれば三ヶ年の使用に堪へる!

色を白くし
キメを細かくし
肉肌の艶を出し
ニキビを取り
ソバカスを無くする
即席化粧具

化粧らいず

說明書入用の御方は郵券二錢入要す
(定價桐箱入壹個金壹圓五拾錢送料書留九錢)

振替東京三一五九五番へ金壹圓五拾九錢振込んで斯る重寶なものを御使ひ試めしになつたら如何でしよう、

本舖 東京府下、下戸塚町四六〇
富士洋行化粧品部
振替東京三一五九五番

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

御料 御園白粉

御園白粉及御園化粧品は畏くも御料に召させ給ふ本邦唯一完全優良なる化粧料にして最新の科學に依り原料と芳香を精選し皮膚の衞生と美容の目的に適ふ配合を以てし冗費を省き包裝を飾らず實質を本位とする化粧品なり。

御園白粉は純無鉛製にして殺菌消毒を施したれば安全なるは勿論永久の保存と氣候の變遷に堪へ効能に變化なく濃淡自在乘りよく伸びよく斑點を生ぜず生れ乍らの美さを現す點化粧品界に比を見ざる白粉中の模範品なり。

御園白粉
御園の月
御園の花
御園撫子
御園紙白粉
御園四季の花
御園の露
御園の蕾
御園クレーム
御園香精
御園の橘
御園香油
御園齒磨
御園ルチゲン

本舗 伊東胡蝶園 發賣元 丸見屋商店

發行所 東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地 婦人週報社

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA